

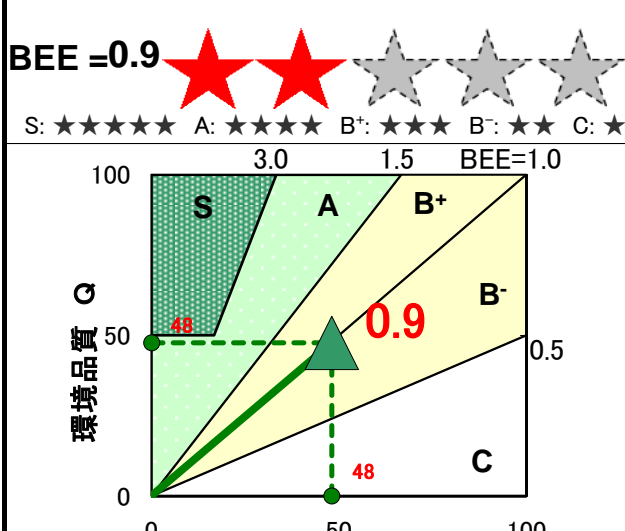
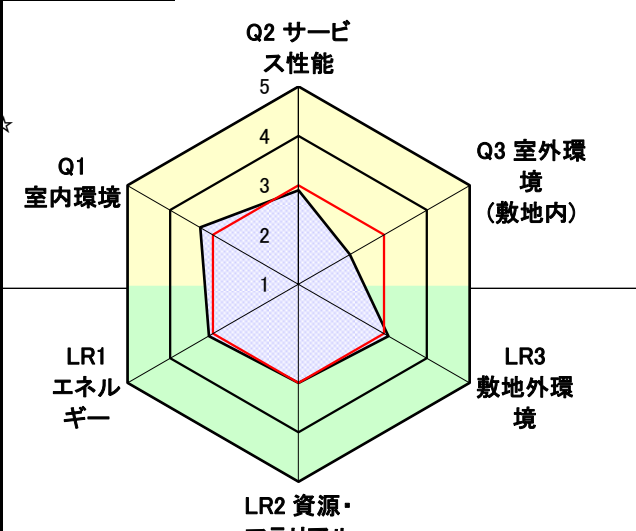
CASBEE® 広島

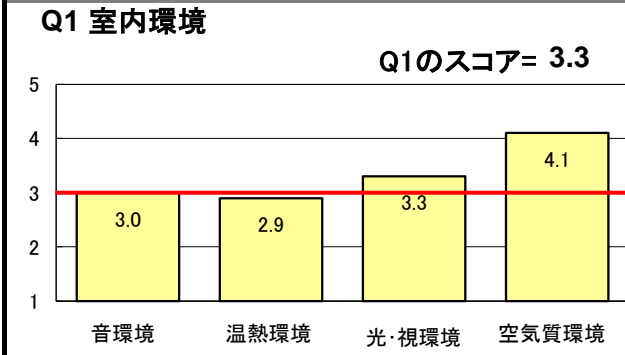
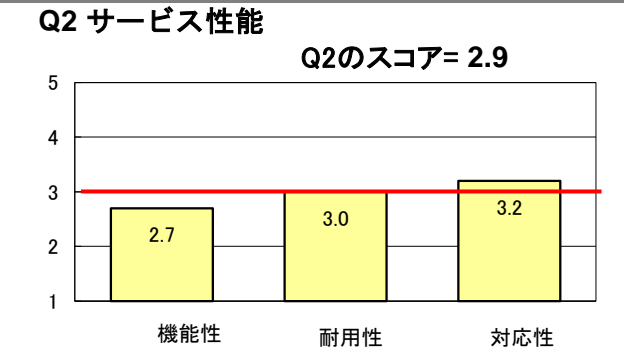
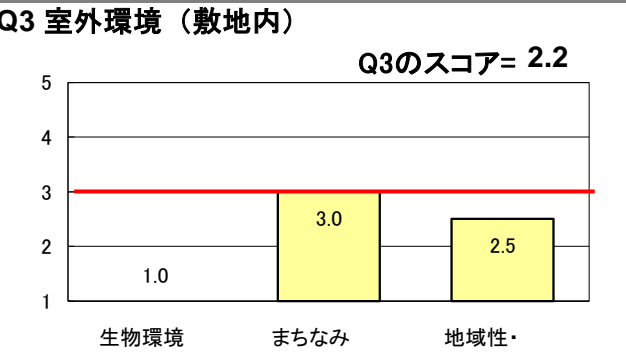
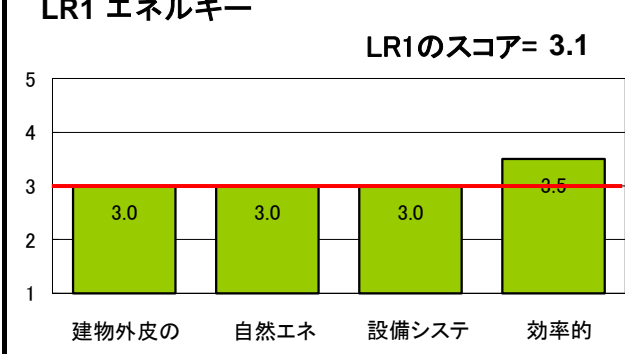
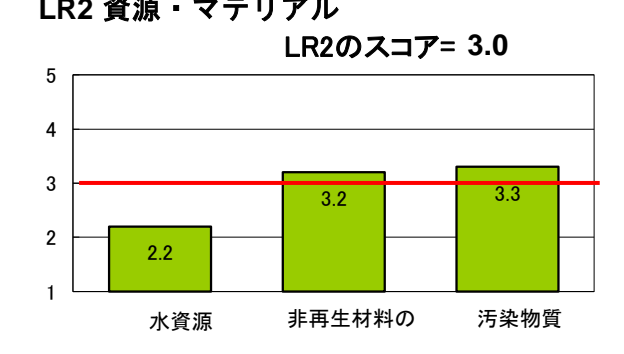
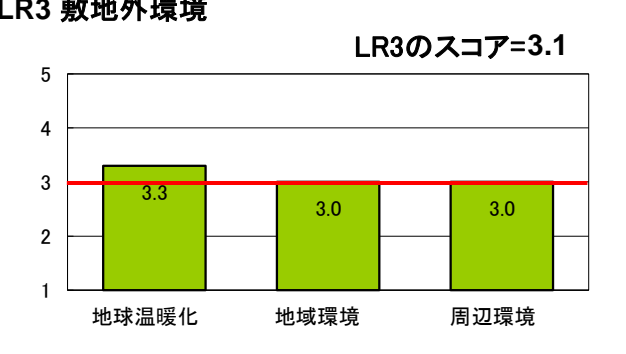
■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)ヴェルディ光町 新築工事	階数	地上15F	
建設地	広島市東区光町一丁目21-1,21-2	構造	RC造	
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	180 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年3月9日	
敷地面積	953 m ²	作成者	松本拓也	
建築面積	368 m ²	確認日	2020年3月10日	
延床面積	4,227 m ²	確認者	定森淳一	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</p> 	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>91%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	100%	②建築物の取組み	91%	③上記+②以外の	91%	④上記+	91%	
①参照値	100%									
②建築物の取組み	91%									
③上記+②以外の	91%									
④上記+	91%									

2-4 中項目の評価(レーダーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p> 	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p> 	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.2</p> 
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.1</p> 	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0</p> 	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p> 

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 2.9</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.1</p> <p>設計の計画に特段に配慮した事項 / / ・LED照明の採用等 / ・かしこい住まい方ガイドを配布し説明 / ・リサイクル材の活用 ・LGS下地の採用 / ・LCCO₂排出率=91%</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 1.8</p> <p>設計の計画に特段に配慮した事項 /</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.0</p> <p>設計の計画に特段に配慮した事項 ・給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 /</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される